

## 平成19年度「岡崎学～岡崎を考える」講座

今年で3年目となる講座「岡崎学～岡崎を考える」を今年も8回にわたり開催いたしました。岡崎の資産を再認識し、また、これからの岡崎について考えるきっかけを、様々な分野の講師の皆様からいただきました。

会期：19年10月6日(土)～平成20年1月12日(土)

会場：コミュニティサテライトオフィス(松坂屋岡崎店6階) 2回のみ龍海院 参加者数：888名

<p><b>10/6 岡崎発の「蝶々」～学校唱歌の源流をめぐって～</b></p> <p>岡崎女子短期大学 准教授 上田信道 氏</p>  <p>出席者：102名</p> <p>童謡「蝶々」と岡崎との関わりについて音楽を交えながらお話いただき、今までにない新たな視点から岡崎を再認識させていただく機会をいただきました。</p>	<p><b>10/13 龍海院 是字寺(ぜのじでら)を知る</b></p> <p>龍海院 副住職 池田友厚 師</p>  <p>出席者：125名</p> <p>是字寺と呼ばれる龍海院の成り立ちについて、徳川家とのかかわりを通してお話いただき、岡崎の資産を体感させていただきました。</p>
<p><b>10/27 地域性とデザイン</b></p> <p>愛知産業大学 教授 杉田圭司 氏</p>  <p>出席者：105名</p> <p>デザインを介し取り組んでこられた、地域との連携について分かりやすくご紹介いただき、またデザイン・景観の視点から岡崎の今後のまちづくりについてご提案いただきました。</p>	<p><b>11/10 朝鮮通信使と御馳走屋敷</b></p> <p>合名会社備前屋 代表社員 中野敏雄 氏</p>  <p>出席者：119名</p> <p>室町より続く朝鮮通信使の歴史、御馳走屋敷等での通信使に対するふるまいなどについて鮮やかな映像とともにご説明いただき、泰平の世を築くため通信使を復活させた家康の外交政策に触れる機会をいただきました。</p>
<p><b>11/24 「ふるさと岡崎」を考える ～伝承の世界から学ぶ～</b></p> <p>岡崎市立大門小学校 校長 野本欽也 氏</p>  <p>出席者：107名</p> <p>この地域に伝わる伝統の祭り、信仰について写真を交えながら分かりやすくご紹介いただき、「ふるさと」として岡崎を再認識するきっかけをいただきました。</p>	<p><b>12/1 岡崎市電ものがたり</b></p> <p>日本路面電車同好会 会員 藤井 建 氏</p>  <p>出席者：104名</p> <p>岡崎の路面電車のなりたちや歴史について、写真を使い過去と現在を比較いただきながら分かりやすくご紹介いただき、50年間にわたり市民の足として活躍し岡崎の歴史に足跡を残した市電の一端に触れる機会をいただきました。</p>
<p><b>12/22 都市の風格、岡崎の風景 ～中心市街地の活性化を目指して～</b></p> <p>人間環境大学 教授 石上文正 氏</p>  <p>出席者：116名</p> <p>岡崎のまちの資産について写真等を使い分かりやすくご紹介いただき、また、21世紀の風格ある岡崎の中心市街地のかたちについて具体的なご提案をいただき、今後の岡崎について皆で考えていくきっかけをいただきました。</p>	<p><b>1/12 岡崎の文化と歴史～明治・大正・昭和～</b></p> <p>愛知学泉大学 教授 岡田洋司 氏</p>  <p>出席者：110名</p> <p>明治から昭和にかけての岡崎の文化・歴史について写真等を交えながら分かりやすくご説明いただき、文化からみる岡崎の特性(伝統と新しさの融合)を活かした今後のまちのありかたについてご提案いただきました。</p>